

R7年度 高松市立新番丁小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

確かな学力と規範意識を身に付け、郷土高松を誇りに思い、

未来に向かってたくましく生きる子どもの育成

自分が輝く みんなできらめく 新番キッズ ～合言葉は「自分から」～

【現状】

- ・ 身体を動かすことへの興味・関心は高く、休み時間には多くの児童が運動場で元気に遊ぶ姿が見られる。その反面、教室等の室内で過ごす子どもも多い。
- ・ 習い事や地域のスポーツ少年団等に参加している児童とそうでない児童の間に、運動習慣や運動能力にかなりの二極化がみられる。

【本校の課題】

- ・ 昨年度の新体力テストの結果から、高学年の長座体前屈、男子のソフトボール投げ、全学年の立ち幅跳びと20m シャトルランの値が、県平均と比べて低くなっている。
- ・ 自由に遊べる場や機会が少なく、生活の中での体力作りや体の動かし方を身に付ける場面が少ないことが原因と考えられる。

【重点化する具体的取組み】

クラスマッチの実施

体育関連行事や教科体育での運動種目にそって、2・3学期に各学年でクラスマッチ（ボール運動、なわとび）を実施する。その際、各学年の実態に応じて、具体的なめあてを設定し、振り返りを大切にするようにする。



SI活動

5・6年生の希望者による運動部活動を、年間を通して計画的に進める。水泳・陸上運動を中心にを行いながら、体力づくりに励む。

個人の目標設定を明確にし、体力や技能の伸びを実感できるように工夫する。



運動委員会が計画する運動イベント

昼休みに体づくり運動（体の動きを高める運動）を中心としたアスレチック系イベントを開催する。安全に配慮し、全身を使うエリアを数箇所設ける。

さらに、クリアできた児童に賞状を配布し、意欲化を図りながら、体力の向上を目指したい。



タブレットを活用した授業作り

体育学習において、自分の動きを客観的に見るためにタブレットを活用する。自分の動きと正しい動きを比較し、自分の課題設定や課題解決につなげる。また、ネット型やゴール型の運動では、チームの動きを見ることでより良い作戦を立てたり、動きの工夫ができるようにしたりする。



【目標】

- 体育授業を改善することで、「運動（体を動かすこと）が楽しい」と感じる児童を増やし、自分から進んで運動や外遊びに取り組む児童の育成を目指す。また、学校のアンケートに「体力づくりに取り組んでいるか」を問う項目を設定し、実態を把握する。年度末には当初の結果数値を上回るようにする。
- 運動委員会を中心に昼休みの運動イベントを企画したり、県が主催のあそびんピックへの参加を促したりすることで運動の楽しさを味わいながら、体力づくりに「自分から」取り組む児童の育成を目指す。